

# バンコク都高校生訪問団受入事業 実施結果報告書



受入期間：令和元年6月5日（水） - 11日（火）

愛知県政策企画局国際課

# 報 告 書 目 次

1	バンコク都高校生訪問団一行名簿	1
2	全体行程	2
3	行程の詳細	
(1)	第1日目(6月5日(水))	3
	来日	
	オリエンテーション	
	トヨタ元町工場・トヨタ会館	
	とよたエコフルタウン	
(2)	第2日目(6月6日(木))	5
	知事表敬	
	日泰寺	
	名古屋大学(タイ人留学生との交流、学内見学、大学説明)	
(3)	第3日目(6月7日(金))	7
	県立豊橋東高等学校	
(4)	第4日目、第5日目(6月8日(土)、9日(日))	8
	ホームステイ、愛知県の高中生との英語ディスカッション	
(5)	第6日目(6月10日(月))	9
	名古屋城	
	ミツカンミュージアム	
(6)	第7日目(6月11日(火))	10
	帰国	
(参考)	参加者アンケート(まとめ)	11

# 1 バンコク都高校生訪問団一行名簿

## ◆高校生(20名)

名前	読み	性別
Ms. Pawarisa Sirithanapipat	パウリサー・シリタナピパット	女
Ms. Chanantina Vilaiwan	チャナンティナー・ウィライワン	女
Ms. Panita Pichitharuthai	パニター・ピッチタルタイ	女
Ms. Dabaswinee Butsupap	ダバットウィニー・ブツスパップ	女
Ms. Nannapas Charoenchaiyikul	ナンナパット・チャロンチャイピヤクン	女
Ms. Pithaya Paramavej	ピタヤー・パラマウエート	女
Ms. Wannakorn Uengwiriyaakun	ワンナコーン・ウアンウィリヤサクン	女
Ms. Papapat Yimnoy	パパパット・イムノーイ	女
Ms. Kotchakorn Bootkoat	コッチャコーン・ブートコート	女
Ms. Sunita Taokhoksung	スニサー・タオコックスン	女
Ms. Mananchaya Wilaipit	マナンチャヤー・ウィライピット	女
Ms. Anancha Lohapraditakorn	アナンチャ・ロハプラディタコーン	女
Ms. Mariam Ahmed Mahmoud	マリアム・アフメド マフマド	女
Ms. Sukanya Limklang	スカンヤー・リムクラーン	女
Mr. Jettana Rengifo Otsuka	チェッターナー・レンギフォ オーツカ	男
Mr. Phannawich Poolsawat	パンナウィット・プーンサワット	男
Mr. Titikorn Chartrakul na ayuthaya	ティティコーン・チャットラクン ナ アユタヤ	男
Mr. Chanat Chandetrattana	チャナット・チャンデッラッタナ	男
Mr. Pariyapong Virattiya	パリヤポン・ウィラッティヤー	男
Mr. Supachet Jamsai	スパチャット・チャンサイ	男

## ◆随行者(5名)

名前	読み	役職	性別
Mr. Khachit Chatchawanit	カチット・チャッチャワニット	バンコク都事務次官代行	男
Mr. Pranot Kaosamran	プラノット・カオサムラン	バンコク都統括行政管理官	男
Mrs. Jiraporn Pungprawat	チラポン・プンプラワット	バンコク都都市連携推進課長	女
Mr. Raschapahn Rojcharoenngam	ラッチャパン・ロッチャローンガム	バンコク都国際課職員	男
Ms. Pimpicha Kerdmanee	ピムピチャー・ケードマニー	バンコク都国際課職員	女

## 2 令和元年度バンコク都高校生訪問団受入事業 全体日程

日付	時間	行程
①6/5 (水)	08:00 10:00-10:45 13:00-15:15 15:30-16:30 18:30-20:00	中部国際空港着 オリエンテーション トヨタ元町工場・トヨタ会館見学 とよたエコフルタウン見学 歓迎夕食会（アイリス愛知）  ＜宿泊：アイリス愛知＞
②6/6 (木)	09:30-09:50 10:45-11:30 11:45-16:00 12:00-13:00 13:15-13:45 14:00-14:30 14:45-15:15 15:20-15:40 17:30-18:30	知事表敬訪問 日泰寺見学 名古屋大学訪問 ・タイ人留学生との昼食会 ・ノーベル賞展示室見学 ・博物館見学 ・名古屋大学説明 ・図書館見学 夕食（銀河）  ＜宿泊：アイリス愛知＞
③6/7 (金)	10:30-16:00 10:30-11:30 11:50-12:40 12:40-13:15 13:20-14:10 14:20-15:10 15:15-15:45	豊橋東高等学校訪問 ・オリエンテーション ・科学の授業体験 ・生徒との昼食交流会 ・総合英語の授業体験 ・1、2年生の授業参観 ・清掃活動、部活動参観  ＜宿泊：ホストファミリー宅＞
④6/8 (土)	終日	ホームステイ  ＜宿泊：ホストファミリー宅＞
⑤6/9 (日)	午前 15:00-17:00 17:30-18:30	ホームステイ 県内高校生との英語ディスカッション 夕食（下の一色）  ＜宿泊：アイリス愛知＞
⑥6/10 (月)	09:45-11:45 12:00-13:00 14:00-16:00 18:30-19:30	名古屋城見学 昼食（ラタナコーシン） ミツカンミュージアム見学 夕食（プレシャスビュッフェ）  ＜宿泊：アイリス愛知＞
⑦6/11 (火)	08:00 11:00	ホテルチェックアウト 中部国際空港発

### 3 行程の詳細

【第1日目 6月5日（水）】

◇8：00 TG644便で中部国際空港着

◇10：00～10：45 オリエンテーション



県庁前で記念撮影

高校生たちは、緊張しながらも全員日本語で自己紹介をしました。  
真剣な表情でプログラムの説明に聞き入っており、本プログラムへの強い意志を感じました。

◇13：00～15：15 トヨタ元町工場・トヨタ会館見学

- ・随員職員：柴田主幹、太田主事
- ・使用言語：日本語、タイ語（日タイ通訳：粕氏）
- ・概要：トヨタ元町工場において、実際の製造工程を現場で見ながら、トヨタの生産方法を学んだ。また、トヨタ会館では、新型車両の展示や、事務改善などについての展示を自由に見学した。



◇15:30~16:30 とよたエコフルタウン

- 随行職員：柴田主幹、太田主事
- 使用言語：日本語、タイ語（日タイ通訳：粕氏）
- 概要：SDGsに関する展示の見学や、豊田市の基礎情報をまとめたマッピングビジョンの視聴を通して、豊田市がどのような理念に基づいてまちづくりを進めているのかを学んだ。水素ステーションではトヨタMIRAIの現物を見ながら、最新技術に関する説明を受けた。



トヨタ元町工場、トヨタ会館、とよたエコフルタウンの訪問では、自動車に関する最新技術や、豊田市のまちづくりについて学ぶことができました。高校生は、工場や車両の現物を間近に見る中で、興味深そうに話に聞き入っていました。

◆トヨタ元町工場、トヨタ会館、とよたエコフルタウンの感想（アンケートからの抜粋）

- ◇ 車がどう作られるのか、トヨタ自動車がどのように成功したのかを学べた。
- ◇ 工場見学で多くの興味深い道具を見ることができた。
- ◇ 人々のライフスタイルを変える先進技術を学べた。
- ◇ まるで未来の都市にいるかのような感覚だった。

【第2日目 6月6日（木）】

◇9：30～9：50 知事表敬

- ・場 所：愛知県公館
- ・県側出席者：大村知事、野村政策企画局長、近藤国際監、川村課長、柴田主幹
- ・使用言語：日本語、タイ語（日タイ通訳：粕氏）
- ・主な内容：カチット事務次官代行あいさつ（タイ語）  
高校生代表あいさつ  
訪問団員自己紹介  
知事あいさつ  
記念写真撮影、記念品贈呈



カチット事務次官代行からは「本事業は本人にとっても大変貴重な機会になるが、バンコク都の未来にもつながるものだ。誠に感謝している」とご挨拶があり、高校生代表も「プログラムでの貴重な経験を本国に帰って共有するとともに、自身の成長にもつなげられるよう努力したい」と意気込みを述べました。

それを受けて、知事から「今回の訪問で多くのことを学び、バンコク都に戻られてからも、周りの方々に愛知の魅力を伝えていただければと思う」との発言がありました。

◇10:45~11:30 日泰寺訪問

- 随行職員：柴田主事、太田主事
- 使用言語：日本語、タイ語（日タイ通訳：粕氏）
- 概要：本堂を見学し、日泰寺の設立の経緯・タイとの関係などの説明を受けた。



◇11:45~16:00 名古屋大学

- 随行職員：柴田主事、太田主事
- 使用言語：日本語、英語、タイ語（日タイ通訳：粕氏）
- 主な内容：12:00~13:00 タイ人留学生との昼食会  
13:15~13:45 ノーベル賞展示室見学  
14:00~14:30 博物館見学（LEDの説明）  
14:45~15:15 大学説明（学位取得プログラム説明）  
15:20~15:40 図書館見学



名古屋大学では、タイ人の留学生と交流し、ノーベル賞に関する展示を見学するとともに、外国人留学生向けの留学プログラム（G30）についての説明を受けました。大学で何を研究するか悩んでいる生徒も多い中、将来の自分を真剣に考えている表情が印象的でした。



【第3日目 6月7日（金）】

◇10：30～16：00 豊橋東高校訪問

- 随員職員：石井主任、太田主事
- 使用言語：日本語、英語、タイ語（日タイ通訳：狛氏）
- 主な内容：10：30～11：30 オリエンテーション  
11：50～12：40 化学の授業体験  
12：40～13：15 生徒との昼食交流会  
13：20～14：10 総合英語の授業体験  
14：20～15：10 1・2年生の授業参観  
15：15～15：45 清掃活動・部活動参観



豊橋東高校の訪問では、化学と総合英語の時間を体験しました。通常の授業から内容を変更し、生徒同士が交流する機会を設けていただきました。生徒は、様々に工夫をこらしながら、言語の壁を乗り越え思いを伝えようとしていました。

そのほかにも、昼食交流会や掃除・部活動の見学などを行いました。来日後、初めての同世代との交流ということもあり、生徒には自然な笑顔が溢れ、積極的に交流していく姿が見られました。

◆豊橋東高校訪問の感想（アンケートからの抜粋）

- ◇ 同年代の日本人生徒と英語や日本語で話せて、とても楽しかった。
- ◇ 先生も生徒も非常に親切で、フレンドリーだった。

【第4日目 6月8日（土）】

◇終日 ホームステイ

今年度も、計20家庭にご協力いただき、1家庭1人でホームステイを行いました。古民家・温泉を訪れるなど日本の伝統や文化に触れたり、カラオケ・カードゲームなど日本のポップカルチャーを楽しんだり、家庭でも盛りだくさんの内容で歓迎していただいたようです。お別れの時には、別れを惜しみホストファミリーと抱きしめ合う高校生もあり、充実した時間を過ごしたことがうかがえました。

◆ホームステイの感想（アンケートからの抜粋）

- ◇ ・ホームステイは英語の力を育む最良の方法だと感じた。
- ◇ ・私はホストファミリーのことを愛している。もう一度会いに行きたい。
- ◇ ・不安な面もあったが、ホストファミリーに温かく歓迎され、とても安心した。

【第5日目 6月9日（日）】

◇ ～14:00 ホームステイ

◇15:00～17:00 英語ディスカッション

・随員職員：柴田主幹、太田主事

・使用言語：英語

- ・概 要：スーパーイングリッシュハブスクール事業拠点校の生徒と英語でディスカッションを行った。テーマは「私の夢」で、6つのチームに分かれ、それぞれの夢と、夢を実現するためのキーワードを模造紙いっぱいに描いた。



【第6日目 6月10日(月)】

◇9:45~11:45 名古屋城見学

- 随行職員：石井主任、太田主事
- 使用言語：英語（愛知善意ガイドネットワークボランティア）
- 概要：ボランティアガイドから名古屋城の本丸御殿の内装などについて説明を受けながら見学した。



あいにくの雨ではありましたが、豪華絢爛な本丸御殿を前に生徒たちは熱心にメモを取り、写真を撮っていました。名古屋おもてなし武将隊の徳川家康もサプライズ登場もあり、大変興奮した様子でした。

◇14:00~16:00 ミツカンミュージアム見学

- 随行職員：石井主任、太田主事
- 使用言語：日本語、タイ語（日タイ通訳：粕氏）
- 概要：ガイドツアー形式で、ミツカンの酢が作られる工程や道具などの解説を受け、プロジェクションマッピングを駆使した荷船の展示や映像形式でのPRビデオを鑑賞した。



【第7日目 6月11日（火）】

◇11：00 TG645便で中部国際空港発

・随員職員：柴田主幹、太田主事

1週間の滞在を終えた生徒たちは、少し疲れを残していたものの、充実した表情を浮かべ帰路に就きました。多岐に渡る訪問先で様々な刺激を受けた生徒たちは、あらゆるものを吸収し、たくましくなったように見えました。

また、各校の生徒、ホストファミリーと連絡先を交換した生徒が、「彼らは私の一生の友になる」と話していたのがとても印象に残っています。今回の経験や訪問で得た友達・家族との出会いが彼らの成長の一助となり、将来、グローバル人材として世界で活躍することを祈っております。

◆全体の感想（アンケートからの抜粋）

- ◇ 私が経験した中でも最もよい事業だった。文化や産業について多くのことを学べた。
- ◇ すばらしい事業だった。もう一度チャンスがあれば、また参加したい。タイに戻ったら、この事業について友人に教えてあげたい。私はこの思い出をずっと大切にする。
- ◇ 日本と愛知県の様々な側面を見ることができた。日本文化、成功した日本のビジネスモデルなどを学べた。ホームステイもとても楽しかった。参加する価値のある事業だった。



**【参考】 参加者アンケート(まとめ)** ※対象人数：20人 (【 】内は回答数)

問1. どうして今回の交流事業に参加しようと思いましたか？（複数選択可）

- (1) 国際交流に興味があるから【 11 】
- (2) 日本に興味があるから【 14 】
- (3) 家族や学校の先生に勧められたから【 0 】
- (4) その他【 0 】

問2. 今回の訪問先の中で印象に残ったところはどこですか？（3つまで選択可）

a. トヨタ自動車元町工場・トヨタ会館【 5 】

主な理由：車がどう作られるのか、トヨタ自動車がどのように成功したのかを学べた。  
工場見学で多くの興味深い道具を見ることができた。

b. とよたエコフルタウン【 2 】

主な理由：人々のライフスタイルを変える先進技術を学べた。  
まるで未来の都市にいるかのようだった。

c. 知事表敬訪問【 3 】

主な理由：貴重な経験となった。

d. 日泰寺【 2 】

主な理由：とても美しい建物だった。

e. 名古屋大学【 16 】

主な理由：日本とタイの違いを知ることができた。ぜひ名古屋大学で学びたいと思った。  
タイ人留学生との交流会で多くのインスピレーションを得た。  
非常に優れた施設を持っており、すばらしい大学だと思った。

f. 豊橋東高等学校【 19 】

主な理由：同年代の日本人生徒と英語や日本語で話せて、とても楽しかった。  
日本ではどういった教育がされているのかを学べた。  
先生も生徒も非常に親切で、フレンドリーだった。

g. 高校生との交流事業【 9 】

主な理由：同年代の日本人生徒の夢を知ることは非常に興味深く面白かった。  
意見交換を通じて多くの友人を作ることができた。  
お互いの夢を話し合うこの方式をすばらしいと思った。

h. 名古屋城【 4 】

主な理由：日本の歴史にとっても興味があり、展示物にとっても驚かされた。  
非常に美しい建築物だった。

i. ミツカンミュージアム【 0 】

問3. 以下のプログラムの感想を記入してください。

(1) 豊橋東高等学校訪問

- ・日本の高校生のリアルな授業風景を体験できた。
- ・生徒が規律正しく行動しており、感銘を受けた。
- ・生徒も先生もとてもフレンドリーで、温かく迎え入れてくれた。
- ・とても美しく清潔な高校だった。生徒の英語も非常に上手だった。
- ・分かりやすく面白い授業で、受けている生徒がとても幸せそうに見えた。
- ・先生が、生徒の理解の助けとなるよう、工夫をしていたのがすばらしかった。もっと勉強したくなるような授業だった。
- ・お互いの国のことをよく知ることができた。

(2) 県内高校生との英語ディスカッション

- ・日本人とタイ人が思い描く夢の違いを知ることができた。
- ・このプログラムを通して、英語で喋る自信が身に付いた。
- ・とても有意義な内容で、英語を用いてチームとして活動することを学んだ。
- ・高校生はとてもフレンドリーで、英語も上手だった。すばらしい経験になった。
- ・お互いの宝物を紹介するコーナーがとても楽しかった。
- ・自分自身の英語能力を高めることができとても幸せだった。

(3) ホームステイ

- ・とても幸せな時間だった。このような機会を設けていただき感謝している。
- ・ホームステイは英語の力を育む最良の方法だと感じた。
- ・私はホストファミリーのことを愛している。もう一度会いに行きたい。
- ・すべての人が親切に対応してくれて、とても幸せだった。
- ・言語や文化について考えを交換することができた。
- ・不安な面もあったが、ホストファミリーに温かく歓迎され、とても安心した。
- ・ホストファミリーはとても優しくかった。
- ・日本についての非常に多くのことを学ぶ良い機会となった。

問4. 滞在期間中、困ったことや不便に感じたことがあれば、記入してください。

- ・アクセントの違いなど、コミュニケーションに困難を感じるがあった。

問5. このような交流事業を来年以降も実施することを検討していますが、どのようなプログラムがあると良いと思いますか？チェックしてください（いくつでも）。

- (1) 博物館や美術館などの訪問【 8 】
- (2) 伝統芸能の鑑賞・体験【 9 】
- (3) 地元企業の訪問【 6 】
- (4) 高校生や大学生との交流【 18 】
- (5) ホームステイ【 14 】
- (6) その他【 1 】（歴史的な名所）

問6. 愛知県の魅力はどんなところだと思いますか？

〔 食べ物【 10 】、 歴史【 7 】、 産業【 9 】、 県民性【 7 】、 文化【 7 】 〕

問7. 全体について、感想を記入してください。

- 日本と愛知県の様々な側面を見ることができた。日本文化、成功した日本のビジネスモデルなどを学べた。ホームステイもとても楽しかった。参加する価値のある事業だった。
- この事業を愛している。毎年実施されることを望む。また来日したい。
- 日本人との文化交流ができる貴重な事業だ。
- 多くの知識と経験を得ることができた。
- すばらしい事業だった。特にホームステイが楽しく、もっと長い期間滞在したかった。
- 私が経験した中でも最もよい事業だった。文化や産業について多くのことを学べた。
- すばらしい事業だった。もう一度チャンスがあれば、また参加したい。タイに戻ったら、この事業について友人に教えてあげたい。私はこの思い出をずっと大切にする。
- とても楽しい事業だった。愛知県について多くのことを学べた。
- とてもよい事業だった。もっと長い期間を日本で過ごしたかった。
- 新しい友人を得る多くの機会を与えてくれた。この思い出を大切にし、タイに戻ってからも友人と共有したいと思う。
- この経験を通して、日本への視野が広げられた。
- 私はこの事業と愛知県を愛している。様々な経験、友人、知識を得ることができた。
- この事業は、私に海外の人と交流する自信を与えてくれた。
- 食事がおいしく、訪問先もすばらしかった。